

# おかげさまで、賛助会員が 100件を超えました！！

ふつとあんどわーく

第6号

▼ホームページ



当法人は、認定NPO法人をめぐっています。認定NPO法人になると、その法人への寄附をした個人や団体等の寄附者が税制上の優遇措置を受けられたり、認定NPO法人が納める法人税が優遇されたりすることがあります。それにより社会からの認知度や信頼が高まります。しかし認定NPO法人になるには、広く一般から寄附を受ける等支持を受けている。活動や組織運営が適切に行われている。法人に関する情報をきちんと公開している。等一定の基準に適合したものが認定されます。その基準のひとつに、絶対的基準として三千元以上の寄附者（賛助会員）が年平均100名以上となる基準があります。まずはクリアしましたが、これを2年間続けければ認可の申請要件となります。

認定NPO法人へのハードルは高いですが、引き続き皆様のご協力をお願い致します。

**ありがとうございます**

**ありがとうございます**



すっかり春らしく暖かな季節になってきました。

自立訓練事業所ラルゴでは、昨年末から復職を果たされる方、就職を決められる方が数多くいらっしゃいました。

毎日のように来所されていた方が来なくなるのは、少し寂しい気持ちも持つてしまいがちですが、たまにお会いした時に見せてくれる笑顔や、「順調です！」の一言がスタッフに元気を与えてくれてます！

ラルゴでは、これから就職を目指す方のための「就労プログラム」、復職を目指す方に向けての「リワークプログラム」を実施しています。昨年からは本格的に様々なプログラムを導入し始めましたが、試行錯誤の一年が経ち、プログラムメニューも徐々に充実してきました。

スタッフ自身が外部に研修に行つて学んだり、オリジナルテキストを作つてみると、少しずつですがラルゴで提供できるコンテンツが

## 自立訓練（生活訓練）事業所



増えていっている実感があります。まだまだ不慣れな部分はありますが、スタッフ一同協力して、よりよい支援が実現できるように頑張っています！

また、最近では利用者さん企画のプログラムも始まりました。「e-sports」「ウォーキング」「女子会」「ビブリオバトル」など、「こんなことやってみよう！」というそれぞれの思いを大切に、企画を作っていく過程から実現するまでを、寄り添いながらサポートしています。自分の思いがプログラムという「カタチ」になり、参加した利用者さんの笑顔につながり、本人の成功体験につながっていくこと。その一連の流れをすぐ側で見られる喜びが、スタッフのモチベーションにつながっている今日この頃でした。

▽ ☎ 082 (554) 6393

▽ 開所日…月曜～土曜日

▽ 受付時間…九時～十六時

▽ メール：largo@footandwork.com

## 海田町ひきこもり相談支援センター

### なないろ

新型コロナウイルスが発見されてから二年が経過しました。この間私たちの生活は一変し、当たり前前が当たり前でなくなり、臨機応変な対応力が求められる時代になりました。その事により心のバランスを崩してしまつた方が増えていると聞き、ひきこもりは誰も起りえることであるということを実感しています。

ひきこもりに悩むご本人、ご家族が心の健康を取り戻し、再び人との関係を取り戻してもいいかなと思えるように、お手伝いできたらと思っています。

四月からはご家族の方に向けた、心理教育プログラムを予定しています。ご家庭内で抱えている不安を少しでも軽減できるように、またご家族の皆様が自分らしく暮らしていけるように、皆さんの参加をお待ちしています。

▽ ☎ : 082 (573) 0802  
▽ FAX : 082 (554) 6375  
▽ メール : shien@footandwork.com



## 海田町くらしの安心サポートセンター

### 海田町委託事業

令和三年度も多くの方にご相談をいただきました。これまで以上に複雑な課題を抱えた世帯のご相談が多く、そのうちのほとんどが切迫した状況で来所されています。まだまだ相談へのハードルの高さがあることや、センターの周知が十分ではないこと、1つの機関では支えきれない現状を感じています。

このような状況を踏まえ、今月は海田町ひきこもり相談支援センター なないろと合同でネットワーク協議会を開催し、関係機関と今後の事業計画を検討しました。来年度の目標は、①支援者同士の繋がりを強化していくこと、②センターの認知を広げていくことと設定しています。具体的には、支援者が分野を超えて集まることの出来る場づくり、SNS等を活用した情報発信、出張相談等に取り組む予定です。そして、三年後には「地域の中で取りこぼしのない支援体制を作り上げる」「誰もが繋がる居場所を作る」ことで、海田町をより良い町にしていければと思っています。

▽ ☎ : 082 (573) 0772  
▽ FAX : 082 (554) 6375  
▽ メール : kurashi@footandwork.com



## おしらせ

4月より、広島県・広島市からの受託事業「広島ひきこもり相談支援センター（中部・北部センター）」の運営が始まりました！広島県中部・北部の方を対象に、電話相談、メール相談、来所相談、その他支援（同行支援や訪問支援など）を行っています。詳しくは新設したホームページをご覧ください！





五月二十二日に開かれる「第二十二回全国障害者スポーツ大会中国・四国ブロック予選（会場：岡山県総合文化公園 体育館）」に向けて練習をしています。

昨年、全国の切符は手にしましたが新型コロナウイルスにより大会は中止となりました。今年も全国への切符を手に入れるため頑張りたいと思います。昨年も主だった活動はできませんが、昨年十月は全国大会で何度も表彰台に上がられている大阪府代表あぶやまワンハーツと、今年四月は全国大会出場経験のある大阪府 Weeed を広島に迎え練習試合を行いました。

ワンハーツには二年前の交流大会でも足もでませんでした。今回の目標は、「負けてもいいから一年間練習した内容をぶつける」でした。結果4.5トータルセットで負けはしましたが、以前と比べたら大きな成果ですし、エースを欠いて、そしてイレギュラーパターンでのフォーメーションも試した上での結果なので満足しています。ワンハーツ監督に「最初の1Setをとりながら試合だったら負け、何度もうラリーを取られ本場に広島は強くなった。」と言って頂き、Weeed の広報担当の方からも「全国常連チームが現在中国・四国ブロックで一番強いのは広島と教えてもらったので練習試合お願いします」と全国からも知らないうちに注目をされております！大会では期待を裏切らないように頑張ってください！また、練習などの詳しい様子は Facebook にアップしているのでも是非ご覧ください！第二十二回全国障害者スポーツ大会中国・四国ブロック予選の様子は FOOT&WORK YouTube チャンネルでライブ中継する予定です！



R3年10月28日より、  
フードバンクの受け渡し場所を  
下記の通り変更いたしました。

住所：海田町南堀川町 3-1  
電話：080-2185-1586  
メール：yuruthi@senoriver.com



△海田町長 西田 祐三 様



△理事長 下原 千夏

### フードバンク・フードドライブ ゆるティ

令和四年二月二十一日（月）特定非営利活動法人 FOOT&WORK（フードバンクゆるティ）は海田町と「災害備蓄物資に関する協定書」を締結しました。当日は下原千夏理事長、西田祐三町長が出席し、新型コロナウイルス感染拡大に伴うまん延防止等重点措置の適用中のため、オンラインにて調印式が執り行われました。本協定は、海田町内に災害が発生、もしくは発生のおそれがある場合に、フードバンク「ゆるティ」が保有する食料品等を海田町に提供、または平時においては、町の防災備蓄物資のうち、賞味期限が近くなったアルファ化米等をフードバンク「ゆるティ」へ提供することにより、双方の事業の推進に寄与するものです。



△講演会の様子

### 広島版 ひきこもり支援情報ポータルサイト ハルモニ@ホーム

当サイトを開設し一年が経っているご家族を大事にされてい  
過しました。スタートの一年と  
してはとても充実した内容で  
の通い合いを感じました。そし  
た。何よりも嬉しいことは、  
仲間が増えていくことです（登  
録団体数…100）。サイトの  
趣旨を知って頂き、尚且、実  
際に取り組んでいる方々と繋が  
り、協力関係を築けるとい  
は、とても心強く、必要な情  
報の集約に繋がっています。そ  
して、コロナ禍であってもウェブ  
を活用した情報交換会や講演  
（勉強会）が実施できたことは、  
今後の自信にも繋がりました。  
講師の宮崎大学教育学部教  
授の境泉洋先生をはじめ参加  
者の皆様が、ご本人や身近に  
お薦め情報及び相談先の推  
薦がございましたら、当法人ま  
でご連絡下さい。

#### ポータルサイトでできること

1. 広島県内の支援団体の情報閲覧
2. キーワードや地域による支援事業所・団体の検索
3. 支援団体窓口への問合せ・相談メール送信
4. コンテンツでの情報収集

悩みを抱える人たちと、  
身近な相談窓口をつなげるサイトです。  
<https://harumoni-hiroshima.com>

🔍 ハルモニ@ホーム 🔍 検索

